

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全		25年度事業・施策評価結果		責任者 企画調整室 事業担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト	
事務事業名	大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業				連絡先 連携課 052-654-7921 工事課、港湾工事事務所、海務課
目的	対象(誰・何を)	大江ふ頭耐震強化岸壁(38号岸壁)			事業期間 平成26~29年度
	意図(どういう状態にしたいか)	老朽化対策を実施し、施設の長寿命化を図ることで、耐震強化岸壁としての機能を発揮させます。			
概要	整備場所:名古屋港区大江町 内容・規模:鉄道車両やボーイングの部品などの輸送機械を主とする重量物を扱う岸壁であり、震災時の緊急物資輸送や震災後の復旧期間における貨物輸送を確保します。老朽化した鋼管矢板の補修や地盤改良等を施工します。耐震強化岸壁185m 総事業費:38億円(平成26年度に19億円から変更) 事業手法:予防保全事業			根拠法令等	社会資本整備重点計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の評価	耐震強化岸壁としての機能が発揮され、震災時の緊急物資輸送や震災後の復旧期間における貨物輸送が確保されます。また、施設の長寿命化、維持管理費の縮減が図られます。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
26年度の実施予定	老朽化対策のため、岸壁改良(地盤改良、電気防食)を行う予定です。			関連シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した内容・結果	老朽化対策のため、岸壁改良(海側の地盤改良及び岸壁を構成する鋼管矢板の腐食を抑制するため電気防食)を行いました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(平成26年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			110,200	110,200	
人件費	千円			4,669	4,669	
合計	千円			114,869	114,869	

3 CHECK(検証)

指標名	24年度	25年度	26年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標			7.4	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	関係者調整
	実績			2.8			
	事業進捗状況(26年度)			順調・やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	県防災計画改訂を踏まえた関係者調整に期間を要したため、現地着手がやや遅れました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○	大江ふ頭の老朽化対策の必要性は低下しておらず、緊急物資輸送対応の耐震強化岸壁として、事業を進めていく必要があると考えております。				
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	耐震強化岸壁として老朽化対策の実施により、施設の長寿命化を図ることは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	—					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	設計段階からで最小のコストとなるように取り組んでいます。				

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
		成果	
	延伸	拡大	拡大
	課題	27年度以降の取組	
大江ふ頭では、鉄道車両やボーイングの部品などを扱っており、岸壁利用に大きな支障が出ないよう、利用者調整を行いながら事業進捗する必要があります。 (H29→H30に延伸)			・港湾利用者と調整を図りながら、早期に整備を推進する必要があるため。 ・愛知県地域防災計画の見直しを踏まえ、調整に期間を要したため目標年次を1年延期しました。(29年度→30年度に延伸)
			岸壁利用者と調整を行いながら、事業進捗を図っていきます。